

一般口演 | 2-01 外科治療

## 一般口演-4

## フォンタン手術

座長:

河田 政明 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター)

中野 俊秀 (福岡市立こども病院)

Thu. Jul 16, 2015 3:50 PM - 4:40 PM 第4会場 (1F ジュピター)

I-O-16~I-O-20

所属正式名称: 河田政明(自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児・先天性心臓血管外科)、中野俊秀(福岡市立こども病院 心臓血管外科)

## [I-O-17]Fontan conversionによる心不全改善効果

○小泉 淳<sup>1</sup>, 猪飼 秋夫<sup>1</sup>, 岩瀬 友幸<sup>1</sup>, 古武 達也<sup>1</sup>, 那須 友里恵<sup>2</sup>, 中野 智<sup>2</sup>, 早田 航<sup>2</sup>, 高橋 信<sup>2</sup>, 小山 耕太郎<sup>2</sup>, 小林 隆史<sup>3</sup>, 岡林 均<sup>1</sup> (1.岩手医科大学 心臓血管外科, 2.岩手医科大学 循環器小児科, 3.岩手医科大学 麻酔学)

Keywords:Fontan conversion, TCPC, 心不全

【背景】 APC Fontan術後遠隔期の心房拡大、上室性不整脈、心不全などの問題のため、可及的な TCPCへの conversionが推奨されている。【目的】当院における Fontan conversionの経験よりその心不全改善効果を調査する。【方法】当院で経験した Fontan conversion6例を対象とし、術前後の Xp、心電図、BNP、NYHA、心カテ結果を後方視的に調査した。【結果】手術時年齢中央値17歳(12-27)、体重55.5kg(34.3-60.8)。主診断は右室性単心室3例、左室性単心室1例、三尖弁閉鎖1例、純型肺動脈閉鎖1例。初回 Fontan手術は年齢2歳(1-9)時で、全例 APC Fontanであった。Fontan手術から conversionの期間は15.5年(10-18)であった。Conversionの適応は全例心房拡大で、うち1例は右肺静脈圧迫を合併していた。PACを除く上室性不整脈や心房内血栓、PLEの症例は無かった。conversionは全例に22mm ePTFE tubeによる心外導管型 TCPC、ASD作成を施行した。合併手術として1例に AVR、2例に心外膜リード植え込みが施行された。人工心肺時間148分(123-211)、大動脈遮断時間47分(40-86)、手術死亡0例、ICU滞在3日(1-6)、術後入院期間18日(14-23)であった。術後経過観察期間は23か月(10-31)で遠隔死亡0例であった。術後遠隔期に上室性不整脈に対しアンカロン内服を要した症例が2例あった。conversion前と最近の臨床検査所見の比較は以下の通りであった。ただし心房負荷は2誘導 P波の振幅 x 継続時間とした。【NYHA(1/2/3/4)】3例/3例/0/0→6例/0/0/0【調律】SR6例→SR5例, JR1例【心房負荷 Vsec】29.3→11.0【XP CTR(%)】49→42【BNP(pg/dl)】97→20【SVC(mmHg)】12→10【心室 EF(%)】54→60【心室 EDP(mmHg)】10.8→8.3【Cr(mg/dl)】0.60→0.65【ChE】262→266【結語】APC Fontan症例に対する TCPC Conversionの成績は良好で、心不全改善効果も認められた。肝腎不全の無い比較的风险の低い APC Fontan症例においては TCPCへの conversionが積極的に推奨される。